

サザナ HTシリーズ T/S/Nタイプ スッキリ棚水栓 (寒冷地用) 天井に オーバーヘッドシャワーがないタイプ

寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

棚W215

水側止水栓・
フィルター

湯側止水栓・
フィルター

止水栓部
水抜コック

棚W300

水側止水栓・
フィルター

湯側止水栓・
フィルター

止水栓部
水抜コック



スッキリ棚水栓

凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

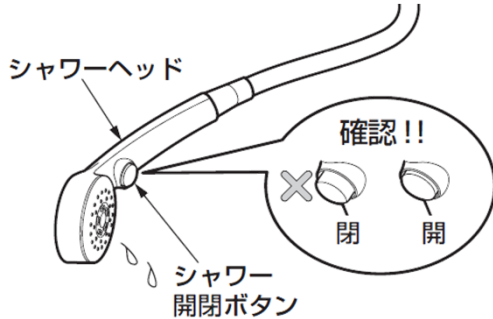
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

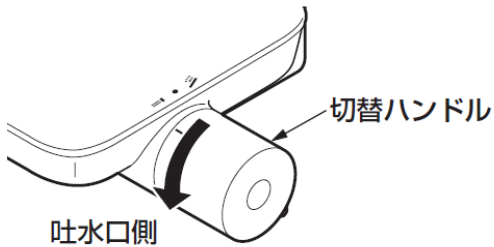
配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法

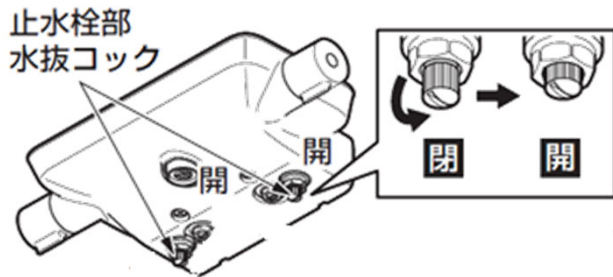


- 1 シャワーがクリックタイプ（シャワーヘッドにボタンあり）
の場合は、シャワー開閉ボタンを押して“開”にする。

- 2 シャワーヘッドを床近くに置く。

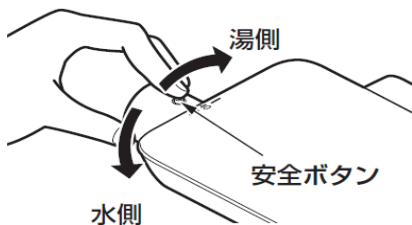


- 3 切替ハンドルを吐水口側いっぱいに戻す。

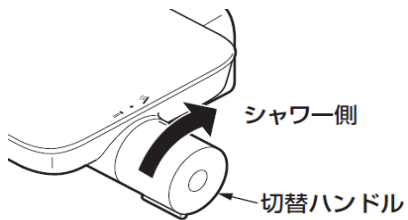


- 4 水抜コックをすべて開ける。
（空気を取り入れ、水を抜けやすくします。）

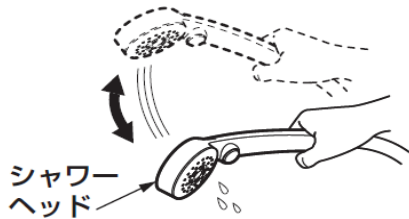
●水抜コック：2カ所



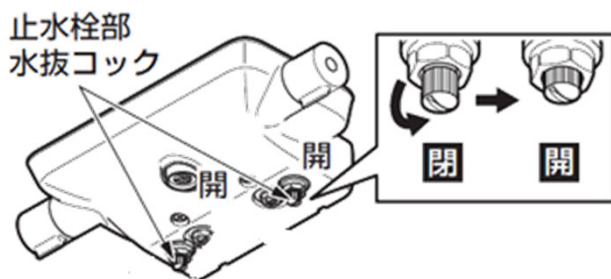
- 5 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇔水側と複数回切り替え、
スパウトから水を抜く。
（確実に水を抜くため。）



- 6** 吐水口から水が出なくなったら、切替ハンドルをシャワー側いっぱい回してホース内の水を抜く。



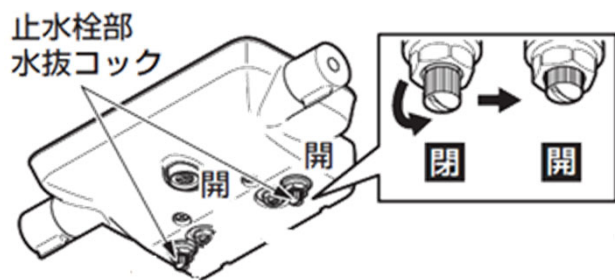
- 7** シャワーヘッドは下向きにし、よく振って中の水を抜いてから床に置く。



- 8** 確実に水が抜けたことを確認する。
(水抜きが不十分な場合、凍結破損のおそれがあります。)

- 9** 水抜コック・切替ハンドルを閉める。
⇒水抜き完了です。
●水抜コック：2カ所

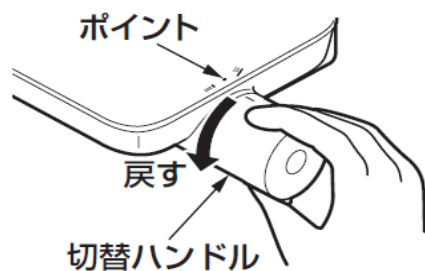
通水再開方法



1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

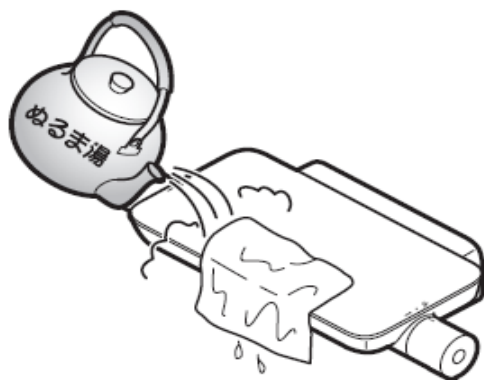
●水抜コック：2カ所



2

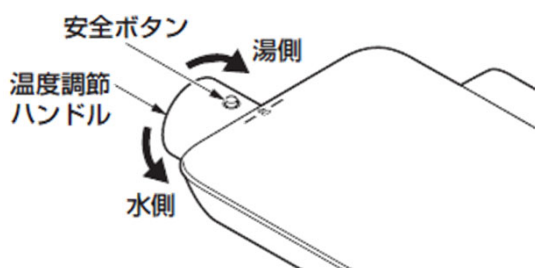
切替ハンドルがポイントの位置まで戻っていることを確認し、通水を再開する。

水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法

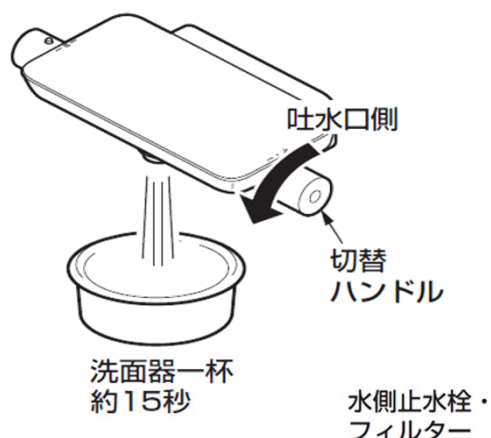


水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。
そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

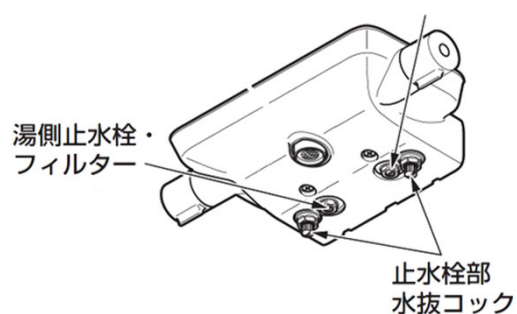
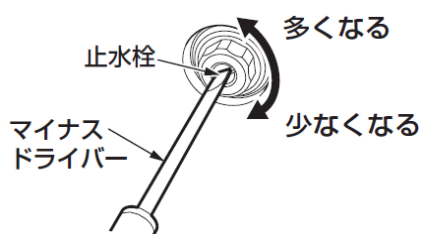
準備するもの：洗面器、マイナスドライバー



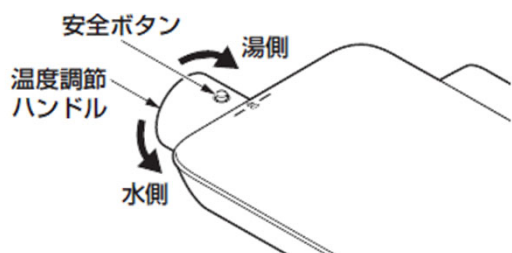
- 1 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、切替ハンドルを吐水口側いっぱい回す。
(吐水口から水が出ます。)



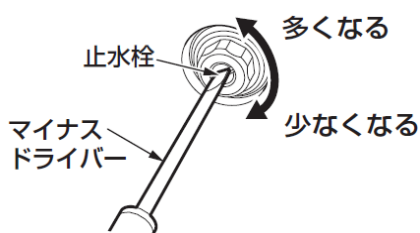
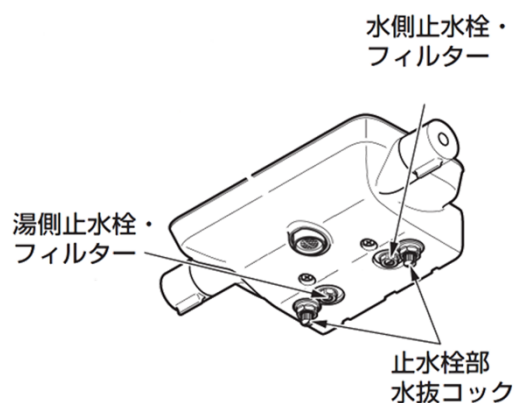
- 2 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。



- 3 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回し ② と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



万一 凍結した場合の対応方法



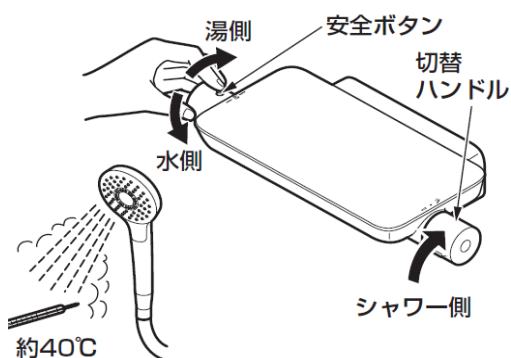
凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。



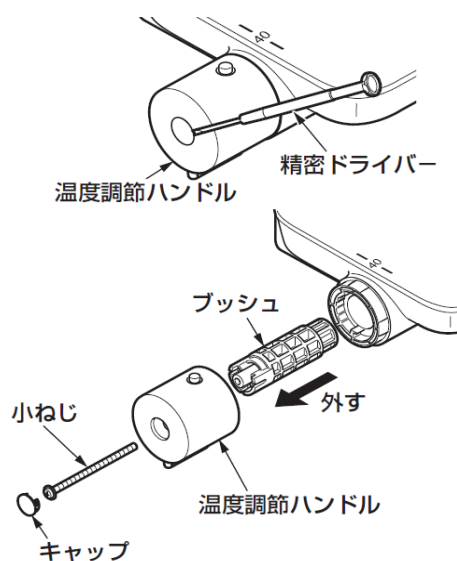
万一、凍結した場合は、
通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルの目盛り
"40"と吐水温度があっているか確認してください。

温度がずれている場合の調整方法

準備するもの：精密ドライバー、温度計

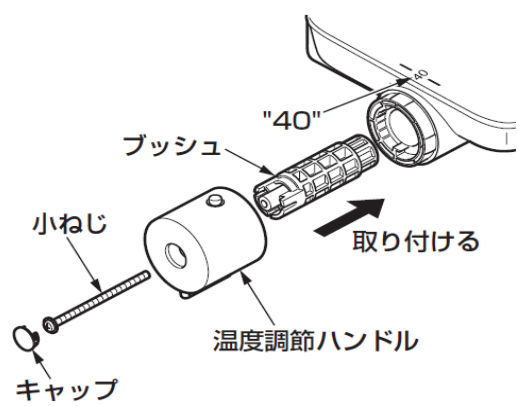


- 1 切替ハンドルをシャワー側いっぱいに戻す。
シャワーから水が出ます。
- 2 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。



- 3 温度調節ハンドルを外す。
温度調節ハンドルが回らないように注意して
キャップ・小ねじを外してハンドル・ブッシュを
抜き取ってください。

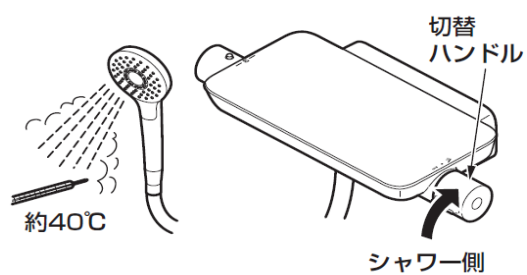
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形する
おそれがあります。



4

温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とポイントをあわせて温度調節ハンドル・ブッシュをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



5

固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。